第2中隊が見事に優勝を勝ち取った。

さな成果を獲得することができた。

厳正な審査の結果、機械操作競技会、炊事競技会及び持続走競技会の全ての競技会を中隊の平均記録で団体の部を、個人の記録で個人の部を実施した。

慰霊の言葉を述べる連隊長

「持続走競技会」は、第1レースから第5レースの各レースで3000mを完走し、

事前に練成を行うとともに意見交換を重ね、

本番は練

指定献立「スパイスカ

歌の斉唱等を行った。

歩兵第46聯隊歌及び第16普通科連

陸士特技課程初級部隊ネッ

陣地構

当日は黙とう、

代表者による献花、

承することを目的として実施した。げた英霊を追悼し、後世まで伝統を継

の軍旗拝受式を行った日であり、当駐

訓練場で歩兵第23旅団長が第46聯隊

兵第40聯隊の軍旗が授与され、

、現植松

陸軍歩兵第46聯隊の軍旗祭を実施した。

16普通科連隊(連隊長

1等陸佐

崇紀)は、

令和6年3月2(日)

3月24日は、宮中において旧陸軍歩

屯地から出兵され国難に際し身を捧

競技会を通じ、各隊員は戦闘戦技能力の向上及び中隊の団結力を深め大隊として大

度の高い争いとなった。 調理した。炊事班長の指揮の下、 上を図ることができた。

## 大隊機械操作・炊事・持続走競技会(4施大)

練成期間で練成を重ね、各中隊は実力を遺憾なく発揮した。 築、障害構成及び交通作業の部で行い、選手は、抽選により選出され当日まで限られた 者及び若年操作手の技能向上を図ることを目的として実施した。競技項目は、 「炊事競技会」は、各中隊長の指名により選ばれた選手6名が、 機械操作競技会」は、示された時間内に機能発揮可能な構築物を構築させ、特技保有 コンソメスープ、コールスローサラダ」を野外炊具により3時間以内に30食分を

2等陸佐

赤尾

広徳)は、

を、令和6年2月22日(木)に「持令和6年1月11日(木)に「機械

操作競技会」を、令和6年1月12日(金)に「炊事競技会」を、 続走競技会」を実施した。 第4施設大隊(大隊長









陸軍歩

16 普 46 藤 隊

軍旗祭

第16普通科連隊は、

令和6年1月11日(木)か

## 連隊持続走競技会・炊事競技会 (1直支・施設整備隊)

(木))、令和5年度炊事競技会(令和度持続走競技会(令和6年3月7日 長選抜により編成し、1人5㎞の駅は、各隊で1個チーム(5名)を部隊 伝の部で実施し、駅伝の部において 6年3月8日(金))に参加した。 屯地において実施した令和5年 康史) は、第4後方支援連隊(連隊 持続走競技会は、一般の部及び駅 遠藤 正幸) が福岡 1等陸尉

ラダ」の30食分を調理し、審査員の以内に「ご飯、豚汁、チキン南蛮、サ が第2位、第2整備大隊が第5位の 整備大隊が優勝、第2整備大隊が第 試食により判定した。 伝方式で実施した。 持続走競技会(総合の部)は、第1 炊事競技会は、野外炊具で3時間 炊事競技会は、第1整備大隊













の設置・運営により、冬時点から状況を開始し、 携を密接に行い共同要領を演練した。 佐賀県警察との共同訓練を実施した。 展開を開始する(緊急部隊輸送訓練) により自衛隊が駐屯地から各施設に 本訓練を通じ、 治安出動が下令され、 第16普通科連隊



と信頼関係を深めることができた。 警察との連携要領を確認し相互理 解

崇紀)は、令和6年2月19日(月) 治安出動における 各部隊間の 警察の先導 共同調整所 連

ことを目的に実施し 手として必要な知識 及び技能を修得する 本教育は、 らっぱ











# ら っぱ集合教育

佐賀県警察との共

同訓練

16

普連

### 施した。 らっぱ集合教育を実 3月29日(金)までの 日(木)から令和6年 令和5年度初級 令和6年1月11 16普通科連









特技課程初級部隊ネットワーク教育を実施した。 令和6年3月29日(金)までの間、 要な知識及び技術を習得した。 法及びシステム通信などを学び、 教育では、各種有線、無線器材の取り扱い、通 令和5年度陸 通信手として



**©** 0957-49-5255



エイブルネッ



